特定非営利活動法人 関西こども文化協会

2021 年度事業報告書

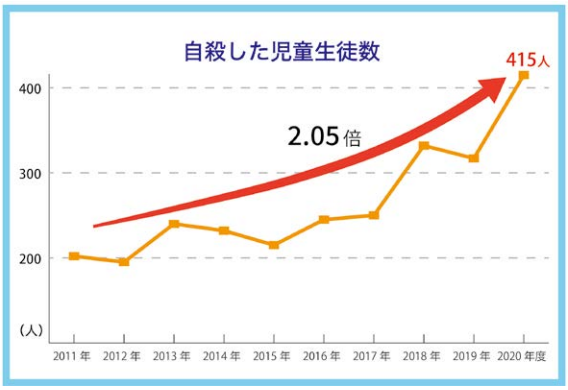
ティーンズスペースの活動を紹介するチラシ

子どもたちが当り前に育つ社会を目指して

子ども達の現状はどうなっているでしょうか。データのように、子どもを取り巻く環境は年々悪化しています。虐待やいじめは増え続け、子どもたちが命を落としてしまうケースも後を絶ちません。また、不登校の子どもたちの数は増え続けていますが、いまだに学校内外での受け皿は足りていません。さらに相対的な貧困状態にある子どもたちは7人に1人にのぼり、家庭の経済状況が子どもたちの学びや育ちに大きな影響を及ぼしています。子どもたちが当たり前に育ち、学び、成長していくための環境が整っていないのが現状だと言えます。

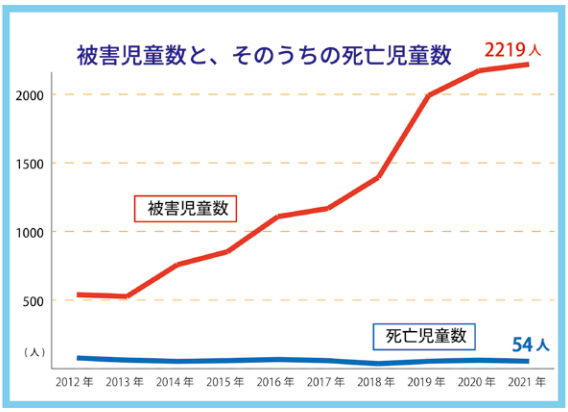
昨年に続き、2021年度も新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄された年となりました。

社会の大きな変化は子どもたちがストレスや不安を抱えたまま孤立する要因となっています。その結果、2021年10月に文部科学省が公表した「令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、自殺した児童や生徒は初めて400人を超え、小中学生の不登校は19万人以上と、いずれも過去最多となりました。自殺した児童生徒は小学生が7人、中学生が103人、高校生が305人、合わせて415人と前年度から100人近く増えました。文部科学省は「極めて憂慮すべき結果で、コロナ禍による環境変化が大きな影響を与えていることがうかがえる」として、SOSを発信しやすい取り組みが重要だとしています。



全国の警察が2021年間に検挙した児童虐待は前年比1.9%増の2,174件で過去最多を更新しました。

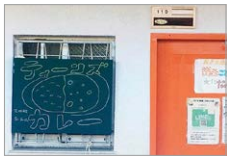
被害に遭った18歳未満の子どもは同2.2%増の2,219人で過去最多。死亡した子どもは54人で、このうち29人が無理心中でした。(警察庁の「令和3年における少年非行、児童虐待及び子供の性被害の状況」による)



大阪府では2021年8月摂津市内のマンションで3歳児が熱湯をかけられて死亡する事件が発生した。このほかにも、7月千葉県で車内放置の3歳児死亡、2022年1月岡山県で5歳児死亡など虐待死は後を絶ちません。

当法人は、子どもたちが当り前に育つ社会を目指して、子どもの権利条約を指針に子どもが抱える課題・困難を解決するための事業を展開しました。

下記の３事業は大阪市旭区の市営住宅を借りて実施しています。



ティーンズスペース

開設毎週木曜日　年間開設日 50 日
のべ利用者数：193 名

10 代の子どもたちが安心してゆっくりと時間を過ごせるよう、スタッフがいつも寄り添っています。利用を始めた時点で、スタッフは利用者の抱えている悩みは分かりませんが、一回一回と参加を積み重ねていく中で、利用者がしんどさや思いを少しずつ出せるようになり、スタッフにも抱えている悩みや辛さが見えてきます。そして、子どもたちも辛さが癒され、悩みと向き合う力が養われていきます。長年利用を続けてきた者の中から、18 歳を迎えたので今後はボランティアとして参加したいという申し出がありました。

ごはんの会（子ども食堂）

毎月第三土曜日に開催
のべ利用者数：52 名

地域の方々にもご協力いただき、毎回和気あいあいと、子ども自身でメニューをつくり、調理しています。

フリースクール旭自由学院

開設日：毎週木曜日　10：00 ～ 15：00

高校３年生１名が１年間在籍し、週１日通ってくれました。３月には就職が決まり、フリースクールを卒業して行きました。

大阪市不登校児童通所事業

場所：住吉区民センター
開設日：年間 159 日

不登校状態の小・中学生に対し、再登校を含む社会的自立を支援することを目的として、学習支援や心理治療、集団活動、体験学習などを提供しています。

登録者数：16 名（中学校３年生８名、中学校２年生３名、中学校１年生５名）

午前中は、学習や読書、描画等それぞれの活動に取り組みます。午後からは、来所する人数が増えることもあり集団での活動も多く、対話やボードゲーム、工作、楽器演奏、屋外での活動等、本人たちの希望に沿って活動を展開しました。その他、夏祭りやハロウィン、クリスマス等季節に合わせたイベント、住吉大社参り、天王寺散策などを実施しました。

※活動場所の住吉区民センター

大阪市こども自立アシスト事業

対象：北エリア（東淀川区他　計８区）

本事業は生活困窮者自立支援法に基づき、こどもの貧困の連鎖を断つことを目的としています。生活困窮世帯と生活保護世帯で中学生および高校生世代（未進学者・中退者）がいる家庭に対し、支援員が親子の進学意識を高め、高校への進学に向けたカウンセリング等の支援を行なっています。

今年度は７名の支援員で 80 名の対象者に年間 1,155 回の支援を実施しました。

面談と学習支援のほか、高校見学への同行や定期考査の登校支援など外出援助も行いました。

支援件数

	2020 年度	2021 年度
来所による面談	394 件	462 件
訪問による面談	241 件	519 件
関係機関との協議	76 件	115 件
その他		59 件
合　計	711 件	1,155 件

地域子育て支援拠点事業

子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的として「つどいの広場」が設置されています。広場では概ね3歳未満の子どもと保護者の方が安心して過ごすことが出来ます。当協会は大阪市 1ケ所、寝屋川市 3 ケ所で、つどいの広場を運営しています。

あさひ子育て広場 おさんぽ

大阪市旭区中宮 1-11-14
旭区民センター内
利用者数　子ども 1562 名 大人 1,332 名
計 2,894 名

つどいの広場 ゆラ

寝屋川市三井が丘 3-7-3
三井小学校普通教室棟 1 階
利用者数　子ども 882 名
大人 779 名 計 1,661 名

つどいの広場 はる

寝屋川市葛原新町 14-1
府営寝屋川春日住宅 1 号棟 103 号室
利用者数　子ども 651 名
大人 481 名 計 1,132 名

つどいの広場 こころ

寝屋川市木田町 18-1
ピアハイツ 101 号室
利用者数　子ども 773 名
大人 604 名 計 1,377 名

24 時間こどもＳＯＳダイヤル電話相談

受付件数

大阪市	子ども	1185 件	2,070 件
	保護者	885 件	
大阪府	子ども	85 件	748 件
	保護者	663 件	

文部科学省が、いじめ問題やその他の子供の SOS 全般に悩む子どもや保護者等が、いつでも相談機関に相談できるよう 24 時間対応可能な相談体制を整備する事業として進めています。

大阪市では、大阪市こども相談センターがおこなっている教育相談を補完するものとして、当協会が平日夜間及び休日の電話対応をしました。

大阪府内（大阪市、堺市以外）では、大阪府教育センターがおこなっている教育相談を補完するものとして平日夜間及び休日の電話対応をしました。

虐待対応ダイヤル「189」等電話相談

2021 年 8 月に厚生労働省は 2020 年度の児童相談所による児童虐待相談対応件数を公表しました。件数は 20 万 5,029 件で、前年度より 1 万 1,249 件(5.8%)増え、過去最多を更新しました。

ダイヤル 189 は、虐待かもと思った時などに、す

ぐに児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号です。

当協会では大阪府の委託を受けて、大阪市と堺市以外の児童相談所（中央、池田、吹田、東大阪、富田林、岸和田の子ども家庭センター）につながる通告等の電話を、センターの閉庁時間帯、平日夜間（17：45 から翌朝 9：00 まで）と休日に受け付けています。

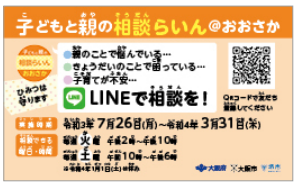
また、大阪府が設置する夜間休日虐待通告専用電話（072-295-8737）も同時間帯に受けています。

上記に加えて、大阪府設置の「子ども専用子どもの悩み相談フリーダイヤル」（0120-7285-25）を 24 時間体制で受け付けています。

受付件数

回線区分	2020 年度	2021 年度
ダイヤル 189	3,419 件	4,685 件
夜間休日虐待通告	1,395 件	1,422 件
子どもの悩みフリーダイヤル	3,717 件	6,097 件
合　計	6,459 件	12,204 件

ＳＮＳを活用した児童虐待防止相談



※子どもに配布したカード（名刺サイズ）

7 月より委託が始まった本事業は、夏休み等の休暇時期には毎日開設し、それ以外は火曜日（14 時～ 22 時）・土曜日（10 時～ 18 時）の週 2 日対応をする SNS を用いた相談業務です。大阪府、大阪市、堺市の 3 府市協同委託であり、前年度の夏期のみの試行実施を経て、本格的に始動しました。

親子ともに相談のアクセスはありますが、１８９等電話相談と比較すると、こどもからの相談割合が多いことから、こどもにとって SNS 相談の方が利用しやすいことが推測できます。また圧倒的に、虐待相談でなく虐待以外の相談が多いことから、重大事案になる前の様々な日常生活のなかでの心配ごと、困りごとなどを相談できるツールといえるでしょう。

受付件数

エリア	子ども	保護者	合計
大阪府	418 件	494 件	912 件
大阪市	247 件	429 件	676 件
堺市	107 件	173 件	280 件
未回答	2 件	70 件	72 件
合　計	774 件	1166 件	1940 件

児童虐待相談にかかる児童の安全確認等業務

本事業は子ども家庭センターへ通告があったケースの中で比較的軽微なものに関して、48 時間以内の当該児童の安全確認や保護者との面談を行う、大阪府の虐待防止体制強化の一端を担うものです。

訪問件数

エリア	訪問回数	確認済回数
中央	320 回	164 回
東大阪	214 回	109 回
合　計	534 回	273 回

子どものためのＬＩＮＥ相談

相談受付件数：129 件

当協会の自主事業として、子どもたちが気軽に相談できるよう、通信アプリ LINE を使った相談事業を行いました。

相談時間：毎週水・金曜日 17:00 ～ 21:00

対象：大阪府の小学 4 年生～高校 3 年生

※ 10 月から高校生の相談も受付けるように変更

子どもたちからの相談内容は、明確な場合もあるが、「少し話したいことがある」など明確に相談内容が決まっていない場合も多く、相談員とのやりとりの中で現状の不安などが明確になることが多くありました。

相談の前段階で気軽に話せる場所が求められているように思われます。

子ども相談 LINE
クラウンドファンディング

実施期間　5 月 11 日～6 月 30 日
寄付者：218 人　寄付金額 202 万円

「子ども相談 LINE」が大阪府「NPO 等活動支援によるコロナ禍における社会課題解決事業」に採択されました。

この事業は、大阪府がコロナ禍で顕在化した社会課題を解決する団体を公募し、選定された団体はクラウドファンディングを行い、集めた金額と同額が一般財団法人村上財団から寄付として助成されるものです。

当協会では、「子ども相談 LINE」プロジェクトを立ち上げ、5 月 11 日から 6 月 30 日までの間にクラウドファンディングを行いました。結果 218 人の方から 202 万円のご寄付を集めることができました。そして、この寄付に対して村上財団より 202 万円のご支援をいただきました。当協会としては初めてのクラウドファンディングでしたが、大きな成果を得ることが出来ました。

大阪府放課後児童支援員認定資格研修

放課後児童支援員は、2015 年度の子ども・子育て支援新制度の施行に伴い創設された資格です。放課後児童支援員として必要となる知識及び技術を習得し有資格者となるための研修を大阪府の委託により実施しました。

2021 年度は 9 回実施（1 回で 4 日間）で、受講完了者は 635 名となりました。

年度	回数	受講完了者数
2017	8 回	852 人
2018	9 回	921 人
2019	9 回	823 人
2020	8 回	522 人
2021	9 回	635 人

東大阪市留守家庭児童育成クラブ
職員総合研修

研修は、①専門研修、②全体研修、③初任者･中級･上級研修という 3 つの研修に分けて実施しました。

・専門研修 2 回（8 日間）実施、受講者 50 名
・初任者研修　4 日間実施　受講者 33 名
・中級研修　4 日間実施　受講者 29 名
・上級研修　4 日間実施　受講者 30 名
・全体研修　4 日間実施　受講者 78 名
・全体研修（シンポジウム）受講者 86 名

泉南市留守家庭児童会研修

実施日及び受講者数
10 月 7 日　受講者 40 名
11 月 5 日　受講者 40 名

大阪府市町村スーパーバイザー研修

大阪府内（大阪市、堺市を除く）市町村児童福祉主管課におけるスーパーバイザーを対象とした研修会を大阪府の委託により実施した。

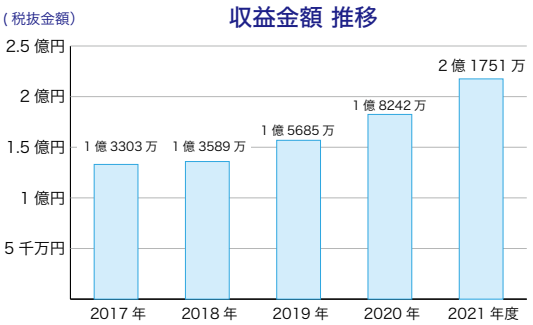
実施日及び受講者数
1 月 18 日 17 名、2 月 1 日 20 名、3 月 1 日 18 名

2021 年度会計報告

貸借対照表

（単位：円）　令和４年３月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
（現金・預金）			
現　　金	103,668		
普通　預金	69,018,620		
現金・預金 計	69,122,288		
（売上債権）			
未　収　金	15,446,274		
貸倒引当金	△ 96,000		
売上債権 計	15,350,274		
（その他流動資産）			
前払　費用	3,765,309		
仮　払　金	5,000		
その他流動資産　計	3,770,309		
流動資産合計		88,242,871	
【固定資産】			
（有形固定資産）			
建　　物	458,016		
有形固定資産　計	458,016		
（投資その他の資産）			
保　証　金	1,062,000		
敷　　金	120,000		
投資その他の資産　計	1,182,000		
固定資産合計		1,640,016	
資産の部　合計			89,882,887
《負債の部》			
【流動負債】			
未　払　金	12,108,378		
前　受　金	8,000		
預　り　金	283,262		
未払法人税等	8,006,300		
未払消費税	5,090,700		
流動負債　計		25,496,640	
負債の部　合計			25,496,640
《正味財産の部》			
【正味財産】			
前期繰越正味財産額	41,627,573		
当期正味財産増減額	22,758,674		
正味財産　計		64,386,247	
正味財産の部　合計			64,386,247
負債・正味財産合計			89,882,887



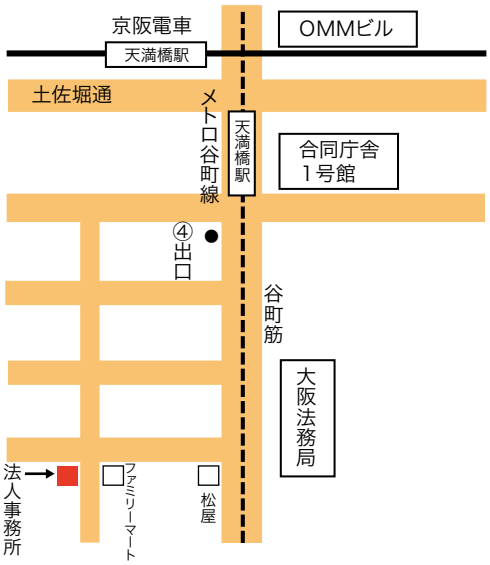
活動計算書

令和３年４月１日～令和４年３月31日
［税抜］　単位：円

【経常収益】	
受取会費	150,000
受取寄付金	5,000,864
受取助成金	640,422
受取補助金	743,000
受託事業収益	209,381,700
その他事業収益	1,577,362
受取　利息	502
雑　収　益	18,524
【経常収益】合計	217,512,374
【経常費用】	
【事業費】	
人件費	144,571,069
その他経費	32,215,362
事業費　計	176,786,431
【管理費】	
人件費	6,089,752
その他経費	3,109,368
管理費　計	9,199,120
【経常費用】合計	185,985,551
当期経常増減額	31,526,823
【経常外収益】	
【経常外収益】合計	66,000
【経常外費用】	
固定資産除去尊	433,136
雑損失	394,713
経常外費用　計	827,849
税引前当期正味財産増減額	30,764,974
法人税、住民税及び事業税	8,006,300
当期正味財産増減額	22,758,674
前期繰越正味財産額	41,627,573
次期繰越正味財産額	64,386,247

役員名簿

役　職	氏　　名
理事長	松浦　善満
副理事長	碓井　岑夫
	竹内　和雄
	峯本　耕治
常務理事	蔦田　　夏
理　事	柳瀬　真佐子
	奥平　恭子
	百瀬　真友美
	森田　次朗
	代田　盛一郎
	金　　文子
監　事	新居　誠一郎



大阪メトロ谷町線「天満橋」駅下車 4番出口徒歩6分
京阪電車「天満橋」駅下車14号階段徒歩11分

特定非営利活動法人 関西こども文化協会

〒540-0037
大阪市中央区内平野町1-3-12 ajディナスティ大手前ビル201号室
電話　06-6809-5613　FAX　06-6809-5614
受付時間　平日9時30分 ～18時　土日祝は休業
Email　office@kansaikodomo.com
URL　https://kansaikodomo.com